

第1号議案 JYCフォーラム2020年度活動報告

会員動向

- ・会員数 2020年4月01日 176人、20団体
2021年3月31日 188人、21団体
- ・今年度会費未収 115/188 15/21

コロナ禍にあってイベントの開催ができず、また会員が関わる団体もそれぞれ活動の継続に不安があるなか、会費の納入のお願い、過年度分の督促も思うように進まない一年だった。

特に7月理事会において、会費納入依頼の前にまずはつながりのある理事・事務局員から様子を伺う連絡を行うという方針が立てられた後、その作業の実行状況の共有ができず、全会員に向けての会費納入依頼ができなかったことも課題としたい。

活動面では、オンライン講座の実施に加え、会員交流会（5月19日）、サマーフォーラム（7月11日）、子ども若者育成支援大綱（案）を読む会（3月14日）なども実施してきた。会員の中でいずれかの企画に参加した人は54名、内複数の企画に参加した人が28人、一度も参加しなかった人が134人と参加度に差がつく結果にもなっている。まずは、この差がオンラインイベントであるという形態に特有のものであるのか、それとも実地のイベントであってもこのくらいの差はつくものなのかを測り、前者であればそこに向けた対応方法の検討も今後必要になると考えられる。

全体概要

1. 事務局の活動

4月3日 事務局会議	7月14日 日韓研究会	11月26日 事務局会議
4月9日 事務局会議	7月21日 事務局会議	12月5日 理事会
4月23日 緊急声明会議	7月27日 事務局会議	12月17日 学び研究会
4月25日 理事会	8月4日 日韓研究会	12月19日 日韓研究会
5月3日 事務局会議	8月11日 学び研究会講座①	12月26日 事務局会議
5月9日 調査打ち合わせ	8月18日 学び研究会講座②	1月6日 事務局会議
5月19日 緊急交流会	8月19日 オンライン打ち合わせ	1月7日 学び研究会
5月21日 事務局会議	8月20日 学び研究会講座③	1月13日 事務局会議
5月28日 日韓共同研究	8月24日 事務局会議	1月16日 オンライン講座Ⅲ①
6月2日 事務局会議	9月4日 日韓研究会	1月20日 オンライン講座Ⅲ②
6月6日 オンライン打ち合わせ	9月4日 オンライン講座Ⅱ①	1月22日 事務局会議
6月11日 事務局会議	9月5日 理事会	1月23日 寄付企画
6月16日 事務協会議	9月11日 オンライン講座Ⅱ②	1月28日 オンライン講座Ⅲ③
6月19日 オンライン講座Ⅰ①	9月14日 オンライン打ち合わせ	1月30日 事務局会議
6月24日 オンライン打ち合わせ	9月18日 オンライン講座Ⅱ③	2月5日 日韓研究会
6月26日 オンライン講座Ⅰ②	9月29日 学び研究会	2月6日 理事会
6月27日 オンライン打ち合わせ	10月5日 事務局会議	2月10日 寄付企画
6月29日 事務局会議	10月16日 事務局会議	2月19日 事務局会議
7月3日 オンライン講座Ⅰ③	10月22日 学び研究会	3月5日 事務局会議
7月5日 総会	10月31日 事務局会議	3月10日 事務局会議
7月6日 セミナー	11月7日 オンライン打ち合わせ	3月14日 子若大綱を読む
7月9日 学び研究会	11月8日 日韓研究会シンポ	3月24日 事務局会議
7月11日 サマーフォーラム	11月12日 事務局会議	3月26日 寄付企画

2. 社会的発信

〔ニュースレター〕第6号（5月11日）、第7号（2021年1月）

〔調査報告〕新型コロナにかんする実態調査

〔『月刊社会教育』連載〕

中塚史行「「はたらく」とかかわる、小さな居場所」（2020年8月号）

鈴木綾「～繋がるだけでは終われない～」（2020年10月号）

辻岡秀夫「自己表現を通じた若者の主体的関与を支える取り組み」（2021年1月号）

3. 企画

[交流会]

5月19日 コロナ禍での実践共有交流会

3月14日 子若大綱改正案を読む

[オンライン講座]

2020年6-7月「若者協同実践講座Ⅰ 若者協同実践とは何か？」

2020年8月社会的自立を支える学び研究会

2020年9月「若者協同実践講座Ⅱ 居場所づくり実践

2021年1月「若者と“働く”を考える」

[シンポ]

2020年7月11日サマーフォーラム

「「命か経済か」の議論の先へーコロナ禍での現場の奮闘・模索から見てきたもの」

2020年11月2日 日韓オンライン公開研究会

[調査]

2020年4~6月 「若者にかかわる現場における COVID-19 対応の影響について」緊急アンケート

[助成事業]

日本NPOセンターへの寄付を資源に、若者支援にかかわる草の根活動を支える助成事業を企画実施

事業詳細 (4月10日理事会資料再掲)

1. 日韓研究会 (文責: 岡部)

韓国の青年活動支援センターの依頼があり、日韓での勉強会を複数回おこなった。主には以下のシンポジウムおよび勉強会をオンラインで実施し、他には韓国側から依頼があった若者支援政策への情報提供を井上さんの協力のもと実施した。

●日韓オンラインシンポジウム (日本側の主催)

2020年11月8日(日) 10時~13時 zoomで開催

報告①: 韓国青年政策の流れ(歴史)とモデルの特性

ソ・ボクキョン、西江(ソガン)大学現代政治研究所青年研究センター

報告②: 日本の若者支援政策の特質

井上慧真、帝京大学文学部社会学科

話題提起: 日本における「若者支援」の多様性

南出吉祥、岐阜大学地域科学部 地域文化学科

参加人数: 約30人(韓国側: 5人程度)

●日韓勉強会 (韓国側の主催)

1. 日韓勉強会① 日本の若者支援政策について: 岡部茜 (2020年12月19日10~12時)

2. 日韓勉強会② サポステ等の政策状況について: 南出吉祥 (2021年1月14日 13時~15時)

3. 日韓勉強会③ サポステについて(現場から): 佐藤洋作 (2021年2月5日 13時~15時)

毎回の参加人数は10人程度(韓国の青年センターのスタッフ)

2. 「社会的自立を支える学び研究会」報告 (文責: 阿比留久美)

【夏の連続講座】@Zoom

第1回目 8月11日(火) 松島裕之さん(NPO法人ネモネット・JYC事務局)

第2回目 8月18日(火) 中野謙作さん(社団法人栃木県若年者支援機構)

第3回目 8月20日(木) 平野和弘さん(一般社団法人Moonlight Project、駿河台大学)

第4回目 9月3日(木) 「『学びの欲求を掘り起こす』プロセスに必要なものは具体的にはなにか」

…3回の講座をふりかえる

松島さんは実践交流会の「多様な学び」分科会のこれまでの議論を整理するとともに、松島さん自身の不登校を経た学びと育ちの歩みを話された。一緒に活動している仲間が歩んできた歴史をじっくり聞く機会は意外にないので、仲間の歩みを通じて若者の自立を考えるというなんとも不思議で貴重な時間となった。中野さんの報告からは、具体的な若者の成長譚から、出会った子ども・若者とかかわり続けること、かれらのピンチを支えることが自立を支えることにもつながっていることが伝わってきた。平野さん報告における職員集団による高校の教育課程づくりは、職員集団の重要性とカリキュラム編成の重要性、そして「学校」という仕組みがもっているメリットを改めて考えさせられた。

大いに盛り上がった連続講座をそのまま終わらせるのは惜しいということになり、急遽スピンオフ企画として4回目を実施した。3回の連続講座から見えてくる若者の歩みとそこで目指されている自立の肝となる部分や論点を議論する会が開催された。

【秋のちいさな研究会】

10月22日(木) @みらいる

研究会スタッフで集まり、これまでの研究会や夏の連続講座からあらためてJYCでどのように若者の自立を考えていけるとよいか膝つきつけて話し合った。これからしばらくは公開講座というかたちではなく、JYCへのコミットメントが深いメンバー少人数で検討を重ねていくこととなった。

2回目の研究会は、文化学習協同ネットワーク大屋さんから実践報告を聞くというテーマで予定されている。12月17日(木)、1月7日(木)と予定されていたがコロナの感染拡大などにより延期された。

3. オンライン講座

1シリーズ3回セットのオンライン講座を3シリーズ開催。この講座をきっかけに新規入会し、また後のシリーズにも参加してくれた人も多数おり、今後も継続する価値のある事業と考えられる。

一方、収益に関しては予算29万円目標のところ15万円となり、団体の経営そのものを支えるほどの収益を当事業のみで生み出すには、参加費単価を上げる工夫なども必要と考えられる。

□シリーズ1【若者支援の基本】

- ・6/19(金) 19:30~21:00 若者支援のそもそもの始まりー制度化と実践のせめぎ合いー
- ・6/26(金) 19:30~21:00 支援をときほぐすー「スモールステップ」な支援の意義と限界ー
- ・7/3(木) 19:30~21:00 「支援」を入りに口に社会を考える

□シリーズ2【居場所】

- ・9/4(金) 19:30~21:00 居場所は「成果」を出すべき場所か？
- ・9/11(金) 19:30~21:00 居場所にかかわる様々な人たち
- ・9/18(木) 19:30~21:00 どうやって居場所ができるのか？～居場所のある意味を問いながら～

□シリーズ3【若者と“働く”を考えるー若者協同実践から見えてくるもの】

- ・1/16(土) 19:30~21:00 「働くことは苦しいだけ」の現状にどう向き合う？
- ・1/20(水) 19:30~21:00 “働く”と“学ぶ”のリアル
- ・1/28(木) 19:30~21:00 新たな働き方への挑戦ーよい仕事・よい働き方をつくる・協同労働ってどんな働き方？

■述べ参加人数 203人+若者 31人